夢へのスタートライン

『導き』

3年5組　岡本　まり
（智辯学園奈良カレッジ中等部卒）
京都ノートルダム女子大学
生活福祉文化学部　進学

入学当初の私は、学校や勉強に対して「やる気」が無く、欠席や遅刻も多かったし、自分を出すのが苦手で、クラスでも大人しく過ごしていました。そんな私に色んな先生が声をかけて下さったり、本音で話して笑いあえる友達もできました。そうして人と接することで様々な考えに触れ、刺激や影響を受けました。そして、このままの自分じゃいけないと気付かされ、三年生になってからは毎日登校し、大学進学を目指して勉強にも励むようになりました。自分なりに成長できたと思います。

高校生活三年間は楽しかったことや初めて経験することがいっぱいありました。そのお陰で失っていた「やる気」も再び芽生えたのです。もちろん、苦しかったこと、周りに迷惑をかけたこともあります。沢山の失敗や経験をしたからこそ、今の自分に繋がっているのだと思います。

下を向いていた私を救ってくれたのは、この高校で出会えた先生方や友達です。本当に感謝しています。そして、この春からの大学生活をもっと充実させるためにも、この三年間で学んだことを活かし、しっかりと前を向いて進んでいきたいと思います。

◆◆◆◆◆

『感謝』

3年5組　高島　涼太
（大阪市立住之江中学校卒）
常磐会学園大学
国際子ども教育学部　進学

卒業を迎える私は今、この運命に感謝しています。金光藤蔭で巡り会った友達や先生方はとても大切な存在で、この先もお世話になると思うし、決して忘れません。高校生活三年間の出来事は全て内容が濃く、今でも、行事だけでなく普段の日々まですぐに思い出せます。なかでも、高校三年生になってからの受験勉強は本当に辛かったのを思い起こせます。同じクラスの子達が早い時期に合格していくのを見ていると、焦ったり、なかなか第一志望の大学に合格できず、私でも合格できそうな大学に逃げようかと迷ったこともありました。そんな不安定な私を何度も担任の先生が軌道修正してくれました。受験勉強の辛い日々が長引くにつれて、心が壊れそうになっていた時も担任の先生やクラスの子が励ましの声をかけて支えてくれました。この経験は、私の将来の夢を実現した時に必ず役立つと思うし、人生の糧ともなると信じています。

両親も私の受験に全面的に応援してくれました。何よりも健康で欠席もなく三年間皆勤で通学できたのも両親の支えがあったからだと思っています。両親を始め、先生方や友達への思いは『ありがとう』の一言に尽きます。

◆◆◆◆◆

『最高のクラス』

3年6組　橿本　侑希
（東大阪市立石切中学校卒）
株式会社グッドウインド　内定

高校生活の三年間をふり返ると、勉強にはかなり苦労しましたが、よい思い出がたくさんできたと思います。そのなかでも、特に三年生での藤蔭祭がいちばん印象に残っています。クラスみんなで小道具や垂れ幕を作ったり、ダンスや歌を練習したり、たいへんだったけれど、仲間との団結力が芽生え、とても充実した時間を過ごすことができました。

僕は、高校を卒業したら、就職します。そのため、夏には就職に向けて努力をたくさんしました。多くの先生方に、社会に出て通用するようご指導いただき、そのおかげで内定を勝ち取ることができましたが、クラスのみんなの応援もあったからこそ頑張れたのだと思います。

今年で学生生活は終わりですが、学生最後の担任の先生は奥田先生でした。就職活動をしているときにも励ましてくださり、いろんな悩みの相談にも乗っていただくなど、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

◆◆◆◆◆

『朝焼けの旅路』

3年6組　古澤　幸大
（大阪市立田辺中学校卒）
ECCコンピューター専門学校
高度情報処理研究　国際IT
開発エキスパートコース　進学

なにごとも終わりが近づくと、それまでの思い出が溢れてきます。入学当初は友達がなかなかできなく、孤立した状態でしたが、今ではお腹をかかえて笑い合える友達がたくさんいます。学校生活に慣れてしまってからは、つい自分に甘えてしまい、欠席や遅刻が増えてしまいました。今思えば、一日一日がとても貴重で、卒業すればこのたくさんの友達と毎日会えなくなると思うと、本当にさみしい気持ちでいっぱいです。

担任の奥田先生は私の進路に真剣に向き合ってくださり、そのおかげで専門学校への進学を決めることができました。時には手を抜いてしまった私に叱咤激励をしてくださり、本当に感謝しています。

四月からは新しい環境になるため、今は不安でいっぱいですが、仲間たちと過ごした学校生活を糧にこれからもがんばっていきます。

『出会った人に感謝』

3年7組　奥田　美琴
（東大阪市立盾津中学校卒）
辻学園調理・製菓専門学校
製菓マイスター科　進学

中学校を卒業してもう三年がたちます。自分の選んだ高校に進学し、新しい友達がいっぱいできて、九年ぶりの新しい環境で本当に不安でしたが、色々な人に声を掛けてもらって新しい友達がたくさんできました。入学する前は、ちゃんと過ごしていけるか不安でしたが、今では大勢の友達と過ごす毎日が楽しいです。三年間の一つひとつの行事に色々な思い出があります。一年六組になったこと、二年五組になったこと、三年七組になったこと、サッカー部に入ったこと……。その時できた友達やお世話になった先生方、学校に行くために高いお金を出してくれたお母さんには、本当に感謝です。出会った友達のおかげで高校生活が楽しかったので、この高校に入学して本当に良かったと思います。三年間ありがとうございました。

『ありがとう』

3年7組　嶋井　知樹
（堺市立三国ヶ丘中学校卒）
有限会社アドヴァンスフード　内定

僕と関わって友達になってくれてありがとう。自分が辛いとき、話を聞いてくれてありがとう。一緒に笑ってくれてありがとう。これからも大切な友達とは、休みの日などに遊びたいし、先生ともまた、色々関わりたいと思います。もし、自分が挫けそうになったら話をきいてもらえたら嬉しいです。歳をとってもそうして、みんなと繋がっていたいです。今、一番寂しく思うのは、卒業することです。卒業後は、みんなと離れて一人で頑張っていく人もいれば、大学に進学して新しい友達を作る人もいるので、みんなばらばらになります。だからこそ、この高校に入学して、みんなと過ごすことができて本当に良かったと感じます。

◆◆◆◆◆

『感謝』

3年8組　河野　夏実
（東大阪市立弥刀中学校卒）
大阪体育大学　体育学部
スポーツ教育学科　進学

高校に入学してからの三年間はあっという間の日々でした。私にとって、この時間は大きく成長させてくれるものばかりでした。クラブ活動だけでなく、学校行事においてもたくさんの経験を積ませてもらい、多くのことを学び、考え、行動する大切さを身につけることができました。時には辛いことや苦しいこともありました。でも、そんなときには優しく手を差し伸べてくれる先生方や、仲間のいつものさりげない優しさに温かい気持ちになり、恐れずに前に進むことができました。皆がいてこその自分であり、自分一人では生きてはいけないということにも気づかされました。些細なことにも感謝の気持ちを持てるようになってから、考え方も変わりました。今度は私が誰かの支えになれるよう精進したいと思います。そして、感謝することを忘れず、教師になるという夢に向かって大学生活も頑張りたいです。

◆◆◆◆◆

『私の三年間』

3年8組　柏谷　真基
（宇陀市立榛原中学校卒）
阪南大学 経済学部 経済学科　進学

高校生活での一番の思い出はクラブ活動です。私はトップアスリートコースでバスケットボール部に所属していました。練習はとても厳しく、授業のない休日でもほとんど休みがなく、毎日練習をしていました。辛くて逃げ出したくなるときもありました。しかし、辛いことばかりではありませんでした。部員全員で1つの目標に向かって努力したり、試合に勝ったときは全員で喜び合ったりと、思い返せばたいへん素晴らしい時間を過ごせたように思います。さらに、バスケットボールをすること以外にも、努力することや粘り強く諦めないこと、そして挨拶や礼儀など、多くのことを学びました。これらのことは、将来、役に立つと思います。

最後になりましたが、充実した三年間が過ごせたのも、支えてくださったクラブ顧問の先生、担任の先生、学校の先生方、そしてずっと見守ってくれた家族と、共に過ごした友達のおかげです。ありがとうございました。